

手をつなごう

平成18年9月11日

岡山県立東備養護学校

支援部だよりNO. 11

公開講座のご参加 ありがとうございました！ その2

講座1：自閉症スペクトラムその特性と支援の在り方 幼児期から学童前期を中心に

おかやま発達障害者支援センター副所長

土岐淑子先生

参加者のアンケートより

- ・心配だな...と思う子と一致することがあったり、あの子がああなったのはこうだったのか...と思ったり、自分を振り返ってみることができました。これからの保育に活かしていこうと思

いました。そして園に戻ってすぐに他の教師に伝えたい!と思いました。(幼稚園)

- ・早期発見・療育の大切さを改めて感じました。高学年になって手遅れを感じることも多いのですが、その時その時にできることを少しでもと考えると頑張っていきたいと思います。(小学校)
- ・現在担当している生徒の顔を思い浮かべながら聞きました。明日からすぐに役立つ内容が盛りだくさんだったので、遠方から来た甲斐がありました。(中学校)
- ・子どもにとっての理解のしづらさや視点のずれといった生活面でのうまくいかないイライラが私自身、どこからくるのか分かったように思います。パニックになりやすいということを知り、子どもの安心感を高められたらと思います。(保護者)

講座2：自閉症スペクトラムその特性と支援の在り方

学童後期から思春期・青年期を中心に

愛媛大学教育学部教授 上岡一世先生

連携の重視

- 学校と家庭
- 教師と教師
- 学校と家庭と地域
- 相互乗り入れ
- 一貫・継続的対応

次のような内容の、ポイントをしぼったお話をいただきました。先生の熱意が伝わり、目からウロコが何度も落ちるような思いがしました。

参加者のアンケートより

- ・自閉症スペクトラムとは、他の発達障害との違い
- ・発達と退行
- ・教育目標は？
- ・自立と社会参加を実現する支援のポイント
- ・認知能力、社会性、コミュニケーション能力の向上
- ・判断力、見通す力の向上
- ・構造化を考える
- ・不適切行動への対応

- ・基本的なことを分かりやすく教えていただきよかったです。今している保育(構造化を含め)を見直したいと思います。(保育園)
- ・とても分かりやすく、特に「構造化」については今までと違う視点も話してくださってよかったです。気づいていないことが多くあり、新しい発見をしました。(小学校)
- ・障害にではなく能力に焦点を当てて子どもたちを見ること、付き合うことの大切さを感じました。「無知は罪」という言葉を肝に銘じ、今後の教育に取り組みたいです。(中学校)
- ・今までにない視点で(思考が働かない支援はありえない)、参考になりました。また今までの構造化への疑問点や大切にしなければならないものがはっきりして、すっきりしました。(盲聾養)
- ・自閉症の見方が今までと変わりました。ネットワークの必要性も考えさせられました(民間団体)
- ・すごくはっきり良い悪いを言ってもらってよかったです。基本的な生活習慣と正しい社会性(しつけ)ができればと思いました。(保護者)